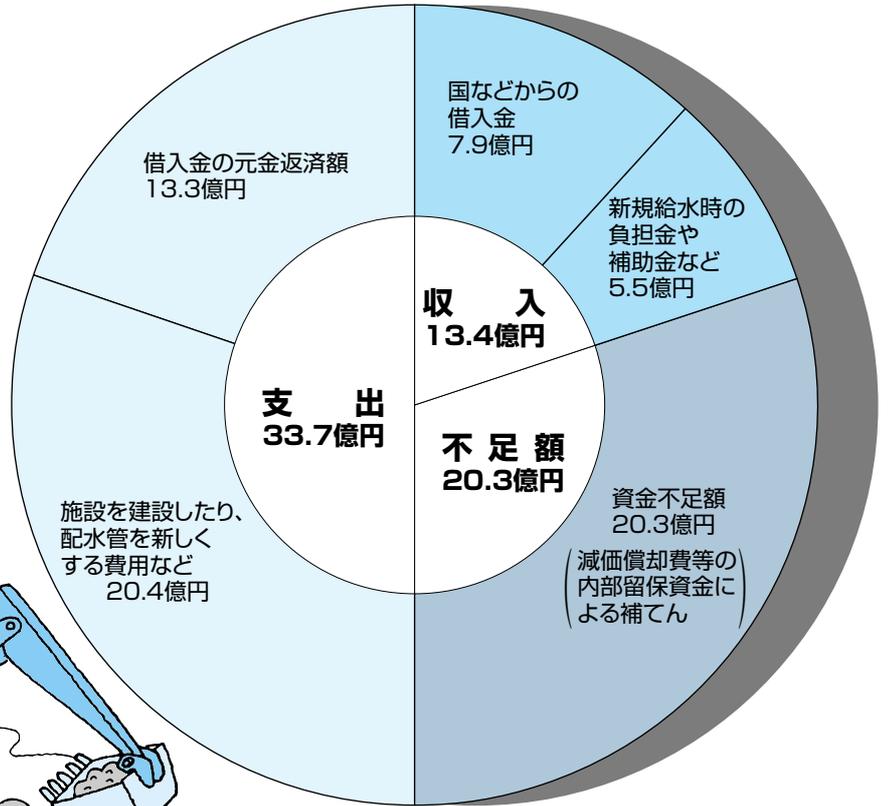


# 資本的収支

(消費税抜き)

水道施設を設備、改良するために必要な経費とその財源



## 借入金

### (企業債残高)の推移

管網整備や施設整備の財源に充てるための国などからの借入金(企業債残高)は、平成9年度をピークに減少していますが、平成17年度は合併により増加しました。健全財政の維持・強化のため今後も削減に努めます。

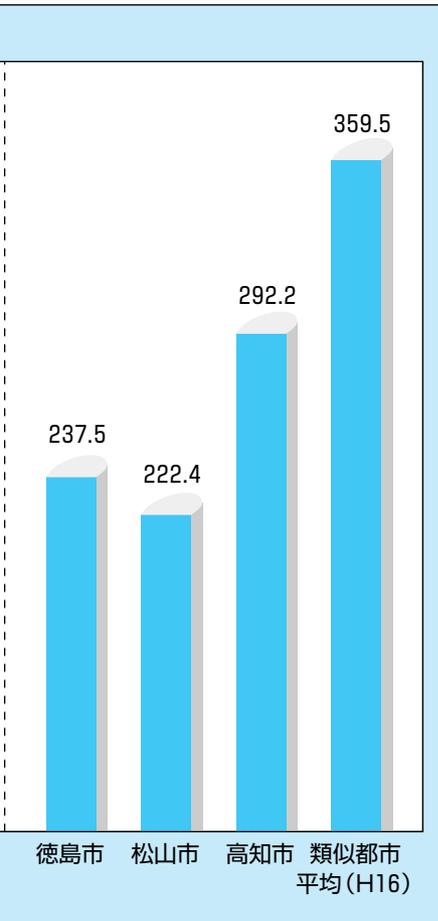


## 損益計算書 (平成17年4月1日~平成18年3月31日)

支出の部	17年度	16年度	収入の部
営業費用	5,817	5,397	営業収益
人件費	1,438	1,429	給水収益
受水費	1,776	1,619	受託工事収益
動力費	96	87	営業外収益
減価償却費	1,413	1,329	受取利息
物件費その他	1,094	933	下水道使用料徴収手数料
営業外費用	680	694	他会計補助金等
支払利息	680	694	雑収益
特別損失	100	94	特別利益
当年度純利益	639	891	固定資産売却益
支出合計	7,236	7,076	収入合計

## 貸借対照表 (平成18年3月31日)

資産の部	17年度	16年度	負債の部
流動資産	6,922	5,659	流動負債
現金預金	5,796	4,708	未払金
未収金	999	830	預り金
保管有価証券	13	14	その他
貯蔵品	113	106	固定負債
その他流動資産	1	1	引当金
固定資産	48,387	37,324	負債合計
有形固定資産	48,247	37,154	資本の部
(配水管等の構築物など)			自己資本金
無形固定資産	135	148	借入金(企業債=長期借入金)
出資金	5	22	剰余金
			資本合計
資産合計	55,309	42,983	負債・資本合計



老朽配水管布設替工事

# 平成17年度水道事業会計決算の概要

市民の皆さんに財政状況を知っていただくため、平成17年度水道事業会計決算状況(塩江簡易水道事業含む)をお知らせします。

決算の収入額の合計は、72億4千万円で前年度に比べ1億6千万円増加しました。これは旧高松市での夏季渇水等の影響により減収となったものの、合併に伴い各町の水道事業を統合したことにより増収となったものです。

一方、支出面では、合併に伴い県営水道用水の受水費が増加したほか、水道料金を高松市に統一するための経費や人件費等の増加により支出額の合計は、66億円となり前年度と比べ4億1千万円増加しました。この結果、当年度純利益は6億4千万円となりました。

また、浄水場整備では、川添浄水場排水処理施設設置工事や御殿浄水場生  
物接触ろ過池工事などを行い、配水管整備では、水道未普及地区への配水管  
「布設工事ははじめ、国などの道路改良工事などに合わせて行う配水管布設工  
事や石綿セメント管・老朽配水管布設替工事を施行しました。さらに、椋川ダ  
ム建設事業に対して費用を負担しました。

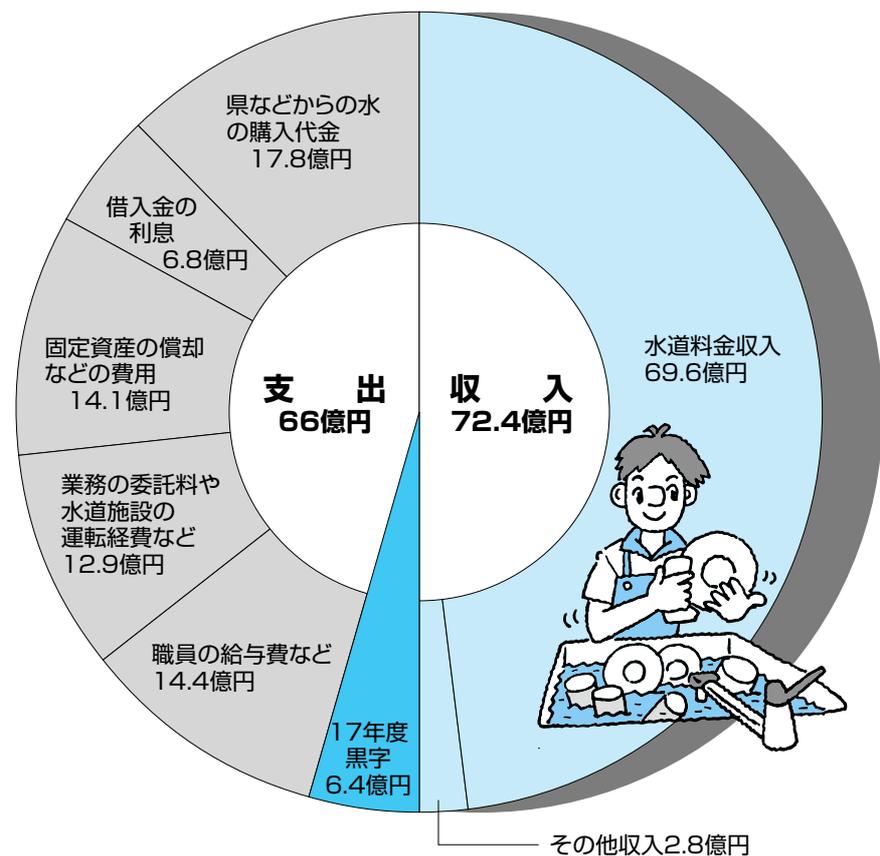
これらに要した資金は、水道料金などの収入や国・県の補助金、工事負担金  
で補い、さらに不足する資金については、国などからの借入金を充てました。

今後とも、常にお客さまの立場に立つて安全な水を安定して供給すると  
もに、財政の健全化に努めます。

## 収益的収支

(消費税抜き)

水道水をつくり、家庭へ  
送り届けるための経費  
とそれに必要な収入



その他収入2.8億円

単位:百万円

	17年度	16年度
	7,029	6,905
	6,962	6,839
	67	66
	205	171
	6	3
	162	147
	19	5
	18	16
	2	
	2	
	7,236	7,076

単位:百万円

	17年度	16年度
	1,040	974
	934	871
	92	88
	14	15
	593	517
	593	517
	1,633	1,491
	17,885	15,566
	22,547	19,074
	53,676	41,492
	55,309	42,983

### ■損益計算書

期間中どのような経営活動によって  
どれだけの効果があったかを示すも  
ので、一年間の営業成績において、その  
期間中に得た収益とこれに対する費  
用で表します。この損益計算書に基づ  
いて経営を分析し、将来の方針を立て  
ることが出来ます。水道事業では収益  
的収支の状況がこの損益計算書で表  
されます。

### ■貸借対照表

(バランスシート)

企業の総資本がどのような源泉か  
ら調達されたかという資本の源泉形  
態を示すとともに、投入された資本  
がどのような機能を発揮し、どのよう  
に運用されているかを示します。保有  
するすべての資産、負債、資本を表し、  
財政状況を明らかにするものです。  
水道事業では、資本的収支で配水管  
の布設や浄水施設の改修工事を行っ  
たときは資産が増加し、その資金と  
して借り入れた企業債や工事負担金  
は資本の増加となって表されます。な  
お、この企業債は、一般企業では長期借  
入金として固定負債に計上されます。